

好評紙面がイベントに発展 熱血先生トークセッション「子どもの心をつかむ」

北摂企画部の初の編集企画「熱血先生トークセッション 子どもの心をつかむ」を、8月21日に千里阪急ホテルで開催しました。当日は約150人(申し込み193人)が参加し、地元の熱血先生の話、メモをとりながら熱心に聴き入りました。このイベントは、5月19日号北摂3版の1・2面「ほくせつこさんが注目する熱血先生」の記事を見た読者から、「紙面に登場した先生の話を知りたい」という声が寄せられ、イベントに発展したものです。

第一部は、民間人校長の経験を持つジャーナリストの村田憲司さんが(もと産経新聞社編集局次長)が、現在の子どもや教師をとりまく環境を講演。二部では、梅花・雲雀丘学園・高槻中・高校の3人の現役教師が、教育現場の具体例をあげながら、母親へのアドバイスや要望をホンネで語りました。会場では一般読者に混じり、保育園経営者、塾経営者ら教育関係者の姿も見受けられ、現役先生の生の声を聞くことができる希少なイベントとして、幅広く関心を集めたようです。

実施後のアンケート結果では、トークセッションへも満足度はきわめて高く、「今後もこんな教育イベントをしてほしい」という声が目立ちました。



データファイル

- ・左: 熱血先生トークセッション(8月21日、千里阪急ホテルクリスタルホール)
- ・右: イベントを報じた産経新聞(8月22日朝刊 府下版)